



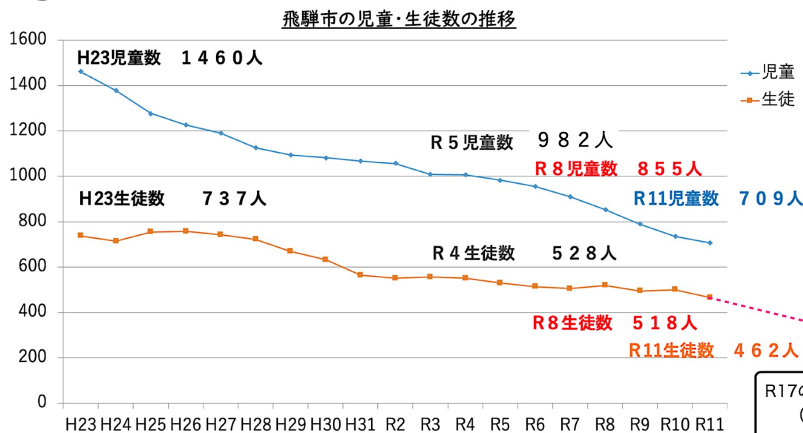
飛騨市では 中学校部活動の地域移行 を進めています

地域移行とは？

生徒がスポーツ・文化芸術活動に親しむ機会を確保すること等を目的として、
これまで学校が担っていた部活動を『**地域クラブ**』の活動に移行すること



❓ どうして部活動を地域に移行するの？ → **少子化**が深刻化



飛騨市の中学校でも

R6年度：507名

↓ 200名程度 ↓

R17年度：316名

《少子化によって生じる部活動についての問題》

- ❑ 1部活あたりの部員数の減少
- ❑ 中学校における部活動設置数の減少

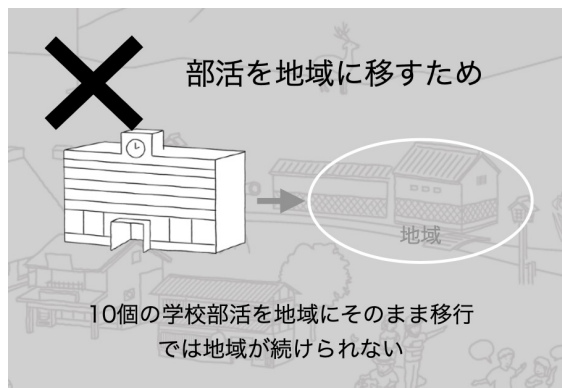
団体戦に出られない！
やりたい部活が学校にない！

他にも 多世代との活動機会の減少 多様な体験機会がなくなる など..

《地域移行で大切にしたいコト》

新たな社会環境をつくる

人口減少、少子化が進む中「人が足らずチームが組めないからやりたい活動ができない」「田舎は不利だ」「夢は叶わない」この地に暮らす子どもたちにはそんな風に思っ
てほしくない。そのためには学校部活動をただただ地域に移行する取り組みとせず、
『**子どもたちにとって**』を議論の中心に据え、学校、地域の実情を鑑みて、
子どもの成長が促進される持続可能な環境や仕組みを再構築する必要がある。



《地域移行に向けた取り組み》

学校、地域団体へのヒアリングや会議等を通じ、課題の整理や解決策の検討を行っています。

学校

部活動

古川中学校
神岡中学校
山之村中学校

地域クラブ実証団体

※順不同

- ★FGB（女子バスケットボール）
- ★古川男子バスケットボールクラブ
- ★HIDA UNITED FC JY（サッカー）
- ★飛騨市柔道協会・柔道クラブ
- ★飛騨市剣道クラブ
- ★飛騨合気道少年団
- ★飛騨ソフトテニスクラブ
- ★飛騨BBC（軟式野球）
- ★飛騨ジュニアウインドオーケストラ
- ★飛騨市卓球協会・古川クラブ
- ★飛騨市卓球協会・神岡クラブ

9種目
11団体

既存の 地域団体

スポーツ少年団
総合型地域
スポーツクラブ
各種協会
連盟 など

民間団体

民間クラブ
[スポーツ・文化]



《地域移行に関わるロードマップ》

推進会議（写真左）

年4回・・・5月、8月、12月、2月に開催

コア会議（写真右）

年20回・・・隔週1回のペースで開催

	R5年度		R6～7年度		R8年度～
活動主体	部活 (8割)	地域 (2割)	部活 (5割)	地域 (5割)	地域 (10割)
主な内容	■ 推進協議会の実施 ■ 各種団体へのヒアリング ■ 課題の整理 ■ 学校、地域への説明 ■ 地域クラブ実証団体の募集と認定		■ 各種実態の把握と解決策の検討（アンケート・ヒアリング実施） ■ PTA総会や育成会総会等での説明 ■ 地域クラブ活動ガイドラインの作成 ■ 地域移行の準備 (R7年度夏までに準備完了が望ましい)		■ 支援センター（仮称）の設置 ■ 推進室（支援センター）で説明会や体験会の開催 ■ 休日は完全移行 (平日も可能な範囲で移行)

『地域クラブ活動』に関するQ&A

Q 現在、指導している学校の先生や部活動は今後どうなるのでしょうか？

A R8年度には現在の部活動はすべて廃止となる予定です。部活動の廃止に伴い、教員は指導しなくなりますが、指導を希望する教員は地域の指導者で登録し、指導可能です。

Q 今までの部活動の「部費」について、地域クラブ活動ではどうなるのでしょうか？

A 今まで「部費」が必要だったのと同様に、用具の購入や指導者への謝金等、地域クラブ活動ごとで「活動費」を支払って活動することになります。

Q 複数の地域クラブへの所属、どこにも所属しないということはできるのでしょうか？

A 子どもの興味・関心に応じ、複数の所属やどこにも所属しないという選択ができます。活動日や時間が重なることもあるので、子どもや関係者と相談して進めてください。